

会 議 録

会議の名称	平成27年度第2回本庄市総合教育会議
開催日時	平成28年1月28日(木) 午前・ 午後 3時00分から 午前・ 午後 5時10分まで
開催場所	502会議室
出席者	構成員 ：吉田市長、富沢委員長、境野委員長職務代理者、落合委員、岡崎委員、勝山教育長、 事務局 ：今井企画財政部長、山下部企画課長、伊平課長補佐、岩崎主査 教育委員会事務局 ：稲田教育委員会事務局長、浅香教育総務課長、木村学校教育課長、飯塚課長補佐
欠席者	なし
議題 (次第)	1 開 会 2 市長挨拶 3 教育委員会委員長挨拶 4 議 題 (1) 本庄市教育大綱(案)パブリックコメント結果について 5 そ の 他 6 閉 会
配付資料	① 次第 ② 本庄市教育大綱(案)に対する意見と市の考え方 ③ 本庄市教育大綱(案)
その他特記事項	
主管課	企画課

会 議 の 経 過	
発 言 者	発言内容・決定事項等
事務局 (企画課長)	<p>本日は、お忙しい中、ご出席を賜りまして誠にありがとうございます。本日、司会を務めさせていただきます、企画財政部企画課長の山下部と申します。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>これより、平成27年度第2回本庄市総合教育会議を開催いたします。本日は、傍聴の希望者が1名おります。本庄市総合教育会議運営要綱第9条に従って傍聴希望の手続きを行い、入室していただいておりますので、ご了解願います。</p> <p>それでは、次第に沿って会議を進めさせていただきます。</p>
事務局 (企画課長)	開会にあたりまして、吉田市長よりご挨拶をお願いします。
市長	<p>本日は教育委員の皆様にはお忙しい中、御参集いただきましてありがとうございます。教育委員さんにおいては、教育行政においてご尽力いただきありがとうございます。</p> <p>第1回会議で手直しさせていただきました、本庄市教育大綱（案）のパブリックコメントの意見募集が先日終了したところです。</p> <p>本日は、パブコメに対する市の考え方というところでまとめさせていただきました。皆様にご意見をいただきながら進めていきたいと思っております。どうぞ忌憚のないご意見よろしくお願いたします。意見を出していただいた方は3人いらっしゃいまして、全体で13件いただいております。文言の内容やご自身の考え方を書いていただきました。</p> <p>皆様方にご意見をいただきながら、市としての回答を議論していただきたいと思っております。</p> <p>簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。</p>
事務局 (企画課長)	ありがとうございました。それでは、続きまして富沢教育委員会委員長よりご挨拶を頂戴したいと存じます。
富沢委員長	教育大綱を充実化するためには、パブリックコメントとそれに対する市の意見は非常に大切です。また、現行の教育委員会においても総合教育会議は重要なものと感じております。本日はどうぞよろしくお願いたします。
事務局 (企画課長)	ありがとうございました。それでは、会議に先立ちまして配布資料の確認をさせていただきます。

	<p>本日の資料といたしまして</p> <p>① 本日の次第</p> <p>② 本庄市教育大綱（案）に対する意見と市の考え方について</p> <p>③ 本庄市教育大綱（案）</p> <p>以上3点でございます。不足等はございませんでしょうか？ （なし）</p>
事務局 （企画課長）	<p>早速ではございますが議題に入らせていただきます。議事の進行につきましては、本庄市総合教育会議運営要綱第4条第1項により、市長が議長となつて行うこととなっております。これからの議事の進行につきましては、吉田市長にお願いしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
市長	<p>市長が会議の議長を行うということでございますので、この後の議題につきまして、議事の進行をさせていただきます。会議のスムーズな運営にご協力をよろしくお願ひいたします。それでは、早速議事に入らせていただきます。「本庄市教育大綱（案）に対する意見と市の考え方について」事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 （課長補佐）	<p>●「本庄市教育大綱（案）に対する意見と市の考え方について」を基に提出された3人13件の意見及び市の考え方を説明する。 （意見募集期間：12月7日～1月8日まで）</p>
大綱全体に対する意見	
市長	<p>3人の方から色々なご意見をいただいたのですが、事務局にて大綱全体、基本理念、基本方針という形で仕分けをして、市としての意見を作成しております。</p> <p>まずは、大綱全体について皆様方の意見はございますでしょうか。特に②、④の「世のため～」についてのご意見ですが、教育大綱の教育の内容は、学校教育、生涯教育、文化の振興などその他全般に関わるものです。市として、公共的なことを打ち出すことは大切なことと考えます。まして、先般の総合教育会議の中で、もともと「明日～」としていたのを「世のため～」としたのは、本市が塙保己一生涯の地ということもあり、そのあたりを全面に打ち出し、市としてオリジナリティを出した方がよいというご意見をいただいた中で、順序を逆にしたということでございます。私としても広く公共的な立場からこのような形でよろしいのでないかと考えております。いかがでございましょう。</p>

岡崎委員	私も市長と同じ意見です。市としてのカラーを打ち出しながら、理念としては、もともとの「明日～」よりも親しみやすい「世のため～」を大綱の理念に持ってきたことで、市が進めてきた形に沿った形での大綱となり、特に問題ないと考えております。
富沢委員長	①については、性質上、市が作るものと教育行政が作るものは、時として相互に同一になるものはたくさんあるので、あえて大綱に変えることとしなくてもよいと思います。 ②については、④と同じことですが、市としての意見はこれでいいと思います。
落合委員	市民には総振と大綱の位置づけがつかみづらいと思います。ねじれ現象が出ていると思います。どこがどうに変化していくのか見えづらいのではないかと思います。市の考え方についてはこの書き方でいいと思います。
市長	大綱をどのようにつくるのかは、各市町村に任せられていることでもあります。これが今回のおもしろいところです。当初の「明日～」は総振においても全面に出していた訳ですが、「世のため～」を一つのオジリナリティとして出していくべきではないかと思う訳です。そもそも「世のため～」は総振の全体の将来像になっています。総振の教育方針と変わりはないのですが、制度的な面は市長部局と教育委員会が一緒になり、市の全体の教育の方針を皆さんのご意見やパブリックコメントをいただきながら定めていくということです。
教育長	②、④の「世のため～」は私もそのように思います。併せて、この言葉は、「教育は国家100年」、「人づくりは国作り」、「米百俵の精神」ということといつにすることでもあります。人をつくるということは、この先10年20年先の本庄市をつくる礎であり、塙保己一先生の言葉につながると思います。
落合委員	教育長と同意見です。総振は総振として市の全体的なものを、大綱はこの教育分野を特化していくという位置づけでよいと思います。
市長	大綱は市の大きな柱ですので、市民の皆様にご理解いただくように努めていきたいと思っております。他になれば、続きまして③、④の基本理念についてご意見いただきたいと思っております。
富沢委員長	④のところですが、あえてひっくり返したことにより、本庄市のポイントとなったと捉えています。塙保己一を研究していくと考えが幅広くなってきます。塙保己一の偉大さは、何度も何度も見ていくうちに分かってくるものです。「市民一人ひとりが～」とあるが塙保己一の持った偉大な面を押しつけられているという反発があると思っております。塙

	保己一が結果として残したものはすごいものがあります。しかし、その人格がすごいというのをはじめに持ってきてしまうと違和感があると思います。
市長	塙保己一の精神ということは、総振にもそのまま載っているものでもあります。それをかみ砕くことも大切です。ただ塙保己一が言ったから載せているのではなく、教育は自分自身を高めるものでもあり、「自他不二」という仏教の言葉がありますが、他人のためにしていることが自分のためになっていることもなる。そういうものでもあると思います。「世のため～」も自己終焉ではなく、教育ですから結果として到達すべき境地をみんなで目指していこうということはおかしくないことと思います。塙保己一だけが強調されるとそこは違和感があるのであれば直した方がいいです。「精神を引継ぎ」というと個人として尊敬しているように思われがちです。個人崇拜をするのは良くありません。自己実現だけを切り取るとよくないですし、何のための自己実現なのかということが大事です。
富沢委員長	総合教育会議のメンバーがそれを認めているのであればその言い回しでいいと思います。結果として、塙保己一の全人格ではなくて結果として「世のため～」を引き継ぐということです。
落合委員	塙保己一の精神と言うと少し違ってしまうと思う。「世のため～」は晩年に言っている訳ですから、総検校という地位になったときに「世のため後のため」という言葉が出てきたと思います。
市長	群書類従は一つの情報公開のようなものです。秘伝のようなものです。「作庭記」を世の中に明らかにしたことで庭造りが始まったと言われていています。先人たちが残したものや言ってきたことを広く万人が見れるようにと語っていたと群書類従に書いてありました。
落合委員	「世のため」の「理念のもと」なのか。「理念とし」なのか。どちらなのでしょう。
富沢委員長	「理念とし」としてしまいますと限定されてしまいます。
境野委員長 職務代理者	本庄市の教育に「世のため～」を理念としてとらえていますので、「理念とし」としてしまうと少しニュアンスが変わってしまいます。
富沢委員長	双方とも特に違和感はないように思います。

市長	特にどちらでも違和感はありませんが、「理念とし」とすると逆に強くなってしまふような感じがします。「理念のもと」の方が大和言葉のようでよいと思います。文言は色々難しく大変ですね。これでよいでしょうか。こういう議論はとても大事だと思います。色々みていくことは大事ですね。
落合委員	やはり、このまま「理念のもと」で、よろしいと思います。
市長	塙保己一の「精神を受け継ぎ」というところに違和感があるという意見がありましたがこちらはどうでしょう。
富沢委員長	「精神を受け継ぎ」の言い回しを少し改善できますか。
市長	色々ご意見があるようであれば④最後の4行をとってしまうのもいいかもしれません。
落合委員	そうですね。「精神を受け継ぎ」は少し重くなってしまいます。これはとれますよね。とった方がよりすっきりとし説得力があると思います。
富沢委員長	質問に対する答えとしては、取った方がより適切になります。
市長	4行をとるということで、他はいかがでしょうか。
教育長	④のところですが、一方で～の後にこれからの時代は本庄市の発展のためには人材の育成が必要だと市としてのスタンスを盛り込んだ方がよいのではないのでしょうか。さらには、これからの時代の本庄市の発展のためには人材の育成が大事だというようなことを盛り込んだ方がよいと思います。
市長	今のご意見は非常に大事なことだと思います。それを入れることで決めてよろしいのでしょうか。それでは、事務局の方でそれをまとめて読み上げて下さい。
落合委員	教育力を上げていくということで「地域の教育力の向上」を入れるのはいかがでしょうか。
市長	基本理念ですので焦点を絞りすぎてはどうかと思います。教育長、先ほどの言葉をもう一度お願いします。
教育長	「これからの本庄市の発展の基盤は教育の人材の育成にあるとの観点から」でしょうか。
富沢委員長	「世のため後のための教育を基盤とし、本庄市発展のための人材を育成する」でしょうか。

市長	それでは、時間に限りがありますので、この部分は事務局に作成していただき、後ほどまとめたものを発表していただくことで次の議論に参りましょう。
基本方針1～5	
市長	基本方針1についてはいかがでしょうか。⑧については、修正する予定です。
富沢委員長	⑤はいいとは思いますが、各学校では学力向上のために、努力しているように感じます。資料として活用しているだけではなく、教師の指導力向上に毎年努力しているというようなことを言ってもいいのではと思います。
市長	現実そうだと思いますので、「これら調査結果に基づき、各学校では、児童生徒の実態を把握すると共に学力向上に向け一層の努力しております」というように修正することとします。よろしいでしょうか。他いかがでしょうか。基本方針1については、この通りとします。続きまして基本方針2～5まででいかがでしょうか。
岡崎委員	⑩「教育環境の整備」のところですが、環境はハード的なものだけでしょうか。人的なところもありますし、この場所にはソフト面が入ってこないのでしょうか。
市長	これは、事前打合せの際にハード面しか入っていないことも指摘しました。どうでしょうか。施設面だけでなく、人的配置などのソフト面を盛り込んだ方がいいと話してあったと思います。
事務局 (企画課長)	「教育環境の整備」において、回答案では、ハード面の事しか答えがないのご指摘ですが、総振でいう「教育環境の整備」は、ハード面しか入っておらず、このような回答案になりました。そのあたりは、総振そっくりでなくとも検討の余地はあると思いますので、ご意見いただければ修正を行っていきたいと思います。
落合委員	総振は何年前にできたのでしょうか。その当時と環境の概念が大きく変わってきています。今までの環境は、自然環境だけでした。先ほど岡崎委員が言ったようにハードの面だけでなく、ソフト面も加味していかないとお答えにならないと思います。
事務局 (企画課長)	総振は平成25年度から後期総合振興計画が始まっております。ソフト面は、教育委員会とも検討しなければいけませんが、登下校の見守り等による安全確保に取り組んでいるものもあります。
市長	岡崎委員、落合委員の言うように環境という言葉が多岐にわたってい

	ますので、教育委員会におけるソフト面の部分を盛り込めるのではと思います。環境の言葉が多岐に渡っていますので、時代が変わってきています。したがって、学校の設備だけを設備だということはないです。
事務局 (企画財政部長)	学習環境の整備は、基本方針1で直接的な学習環境について言っているところもあります。
市長	こういうご質問ですがということで、答えの中で質問の定義づけすることが大事です。定義づけをしないと教育環境ということが広くなりすぎてしまいます。⑪の答えはこれだけ見ていただいていますので、その部分は修正後持ち回りで見ていただき、異議があれば出していただくこととします。
市長	⑩、⑫の市教育委員会と「連携して」は、他者的な感じとなりますので「共に」に変更してくださいと事前に言っておりましたので、それをお願いします。他に何かございますか。それでは、②の塙保己一の子孫の精神のところ事務局できましたか。
事務局 (企画課長)	それでは、案ということで読み上げさせていただきます。 基本理念の「世のため後のための教育」が馴染まないのご意見ですが、教育において個人の資質や教養の向上は重要なことですが、一方で公共性や社会性の育成も重要と考えます。さらに本市の発展の基盤となる未来に飛躍する人材の育成に向けた教育の充実の重要性を考慮し、総合教育会議において検討した結果、「世のため後のための教育」としたところです。
富沢委員長	さらに本市の発展の基盤となる未来に飛躍する人材を育成するための教育の充実を目指し、総合教育会議において検討した結果、「世のため後のための教育」としたところです。 としたらいかがでしょうか。
落合委員	もっとすっきりさせるのであれば、その前の部分の「教育において」のところを切って、ご意見をいただきました。とした方がすっきりすると思います。
市長	馴染まないという相手の意見も受け止めて回答した方がいいと思いますので、私は富沢先生の案でいいと思います。②はこれでよろしいでしょうか。教育環境の整備については、事務局で案を作成し、持ち回りとさせていただくことでいいでしょうか。議論は尽くしておりますのでそんなに異論はないと思います。教育環境はどこまでの事を指すかを斟酌しないといけなので、定義づけをして我々の回答とすることとします。

落合委員	「教育環境の整備」について、文科省はハードの面が中心となっていて、緊急性でいじめの面などがあります。
市長	大変長時間における議論ありがとうございました。それでは、大綱案についての議題については終了することとし、そのほかに何かありますか。
落合委員	大綱が出来きた後の今後の会議ですが、市民の教育懇談会をやっている市がありますが本庄市はどうでしょうか。
市長	懇談会は、PTA としています。会長さんだけではなく全体で150人くらい集まるもので、年1回行っています。そこでは、分科会にわかれて事例発表を踏まえ、教育長、市長と懇談することをしてしています。
落合委員	例えば学校の評議員の方のご意見を聞き入れながら、みんなでこの地域の教育を進め、個別化から集団化にしないといけないと思います。情報を流すことも必要ですし、どのような問題があるのかさまざまなことを認識しながら、長い目で多くの人で語れる場があれば良いと思います。何かしらしていかないと教育が他人事になってしまいます。
市長	本庄市全体ですと、青少年育成市民会議があり、そこでのPTA、自治会、学校等の代表者が集まって、情報共有があります。もう少し、幅広いものはあまりなされていません。PTAはPTAというように個々のものはあります。 行うとすれば、総合教育会議のメンバーと各学校の懇談会をやっていくのはおもしろいと思います。もしするのであれば、中学校であれば4つの公立中学校の校長先生、PTA、学校評議員等と我々の座談会はできなくはないと思います。小学校の関係者の方にも来てもらおう。やはりテーマがないと、集まっても話しが進まないですし、ある程度課題を抽出して行って、事例発表していただき、それに対して意見を貰うと良いと思います。
教育長	あまり広がりすぎても大変だと思います。
岡崎委員	青少年ではメンバーも変わったりしておりますので、同じテーマを継続していくのはなかなか難しいと思います。できれば新しい団体でやっていたらいいと思います。参加率も良くはないので、人それぞれ捉え方も違います。
市長	理念的なものを押しつけるのではなく、実情はどうになっているのかということです。実情を把握する上では、行政のメンバーも一緒になって出前のような形でもおもしろいかもしれません。
落合委員	合併当時自治会を回ってましたよね。教育委員さんも学校はまわってますよね。

境野委員長 職務代理者	学校が意見を持っていてもなかなか出せないというケースもあります。
市長	学校にしても教育委員会にしても把握に努めています。校長先生の個性もありますが、学校としてまた別の形で別のメンバーで先生たちと意思の疎通を図る中で、こうにすればいいというものがありますか？ どうでしょうか。
木村学校教育 課長	校長先生方のお考えもありますが、学校長、学校の状況や意見は吸い上げて、対応していますが、実際に市長、教育委員などと話をするのは難しいと思う場合もあると思います。教育委員会を通じて話した方がいいと思う校長先生もいるかもしれません。
市長	ざっくばらんに実情を聞くというのではどうでしょう。教育委員会のメンバー、市長部局等と一緒に学校に行くのではいかがでしょう。
木村学校教育 課長	あまり固くなると話しづらくなると思いますので、最初はざっくばらんなが良いと思います。
市長	どのような方向で、何をしたらよいか。総合教育会議は、何がなくても集まるということでスタートした訳ですが、やるからには、本庄市の教育行政が少しでも良く出来ればと言う思いはあります。 ところで、今の時期は、教育委員さんは学校訪問をしているのでしょうか。
富沢委員長	二人1組で学校訪問をしています。ざっくばらんで話す校長先生もいらっしゃいますし、色々です。
市長	次の総合教育会議はいつ頃開催ですか。5月くらいですか。教育大綱はこの場で決まってしまうと、議会案件ではないですね。新年度は、5月、9月、正月くらいですかね。年3回くらいで。9月位にあってもいいと思います。予算取りの前に出していくことが大事です。
教育長	総合教育会議の性格を考えると予算の前の9月は良い時期と思います。
市長	学校訪問は検討事項としていきたいと思います。 ほかに、ご意見、ご質問はございませんか。 ないようでしたら、進行を事務局にお返しします。議事進行へのご協力に感謝申し上げます。

<p>事務局 (企画課長)</p>	<p>皆様には慎重審議大変ありがとうございました。 次に、次第の5番のその他でございますが、事務局のほうから1点今後のスケジュールなどにつきまして報告させていただきます。</p>
<p>事務局 (課長補佐)</p>	<p>本日ご議論いただいた件は、持ち回りとさせていただきます。その後、パブリックコメント結果につきましては、広報、ホームページにて周知します。今後の総合教育会議は、5月、6月くらいで予定しております。以上です。</p>
<p>事務局 (企画課長)</p>	<p>以上をもちまして、本日の日程はすべて終了いたします。長時間にわたりどうもありがとうございました。</p>

市 長

吉田 信 解

教育委員会
委 員 長

富沢 峰 雄